

県土連『第60回通常総会』開催

県土連(会長・長岡秀人出雲市長)の第60回通常総会が2月2日、島根県土地改良会館で開催され、会員や来賓らが出席した。

開会式では長岡会長の挨拶に続き、坂井康宏中国四国農政局長、藤原孝行島根県副知事(島根県知事代理)、加藤勇県議会議員(島根県議会議長代理)、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問が来賓を代表し祝辞を述べた。

総会に先立ち行われた平成29年度土地改良功労者表彰では、土地改良事業の推進・発展に功績のあった土地改良区役職員など13名(2頁に掲載)が受賞。長岡会長から代表者に表彰状と記念品が授与された。



総会の様子

引続き行われた総会では、会員51名のうち50名(内委任状出席9名)出席のもと、下森津和野町長を議長に、また升谷西ノ島町長と田原大田市久手町土地改良区理事長を議事録署名人に選出した後、下記9議案について慎重審議が行われ、いずれの議案も全会一致で承認可決された。最後に関係機関に対し農業農村整備関係予算の必要額を当初予算で確保することなどを求めた決議文(2頁に掲載)を遠藤出雲市斐川土地改良区理事長が読み上げ、全会一致で採択された。

【承認・可決された提出議案】

第1号議案	平成28年度事業報告の承認について
第2号議案	平成28年度会計収入支出決算及び財産目録の承認について
第3号議案	平成29年度会計収入支出補正予算(案)の議決について
第4号議案	平成30年度事業計画(案)の議決について
第5号議案	平成30年度賦課金の賦課及び徴収方法(案)について
第6号議案	平成30年度会計収入支出予算(案)の議決について
第7号議案	平成30年度借入金の限度額及び取引金融機関の承認について
第8号議案	役員報酬の承認について
第9号議案	役員の補欠選任について(4頁に掲載)

■ 県土連「第60回通常総会」	1
■ 平成29年度土地改良功労者表彰受賞者の皆様	2
■ 決議文	2
■ 農業農村整備事業に関する説明会を開催	3
■ 島根県農村整備推進協議会総会を開催	3
■ 第21回「しまねの農村景観フォトコンテスト」審査会開催	4
■ 県土連役員交代のお知らせ	4
■ 3月の主な予定	4

平成29年度土地改良功労者表彰受賞者の皆様 ～ おめでとうございます ～

【役員の一部(12名)】 (順不同)

- 大西 求 様 (松江市土地改良区 理事)
- 大櫃 和則 様 (安来市土地改良区 理事)
- 白築 進 様 (雲南市土地改良区 監事)
- 曾田 修一 様 (出雲市土地改良区 理事)
- 長岡 弘志 様 (平田中央土地改良区)
- 常松 士郎 様 (出雲市伊野土地改良区 監事)
- 伊藤 裕 様 (出雲市斐川土地改良区 理事)
- 岡崎 重匡 様 (益田市土地改良区 理事)
- 卯木 實 様 (津和野町土地改良区 理事)
- 小田 善史 様 (鹿足郡吉賀町土地改良区 副理事長)
- 金川 富士雄 様 (鹿足郡吉賀町土地改良区 理事)
- 松蔭 茂 様 (鹿足郡吉賀町土地改良区 総括幹事長)

【本会職員の一部】 (永年勤続者表彰)

- 小村 知久 様 (水土里推進グループ リーダー)

決 議

農業は、農地と用水を利用して我々の生命の維持に不可欠な食料を生産する重要な産業であり、農村は、農業生産活動を通じた国土保全や水源の涵養、生物多様性の保全等、様々な機能を有しており、食料の安定供給はもちろん、豊かな国土や自然環境など、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、高齢化が一段と進み、農業従事者人口も大きく減少してきており、農地の荒廃、担い手不足等による農地・農業用水の管理や営農の継続への影響など、多くの課題に直面している。また、コメ政策も大転換される中、本県農業・農村の活性化は急務となってきた。

こうした中、昨年改正土地改良法が成立し、担い手への農地の集積・集約の加速化に向け、農地中間管理機構と連携した新たな基盤整備事業を実施できる制度が創設され、また、防災・減災対策の強化や事業実施手続きの簡素化といった使い勝手の良い事業制度も整えられた。

国が目指す施策の展開方向を踏まえ、本県の農業・農村が、今後も持続的に発展するため、強い農業の基盤づくり、農村地域の防災・減災、農業水利施設の長寿命化を計画的かつ着実に実施する必要がある。とりわけ本県の八割を占める中山間地域の条件不利を解消するための条件整備は必要不可欠である。

これらの状況を踏まえ、今後とも本県の農業・農村の発展が滞ることのないよう、左記事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一、 農業農村整備関係予算の必要額を当初予算で確保すること
- 一、 中山間地域の活性化に資する総合的な整備を着実に推進すること
- 一、 災害に強い農業農村づくりに向けた防災・減災対策を着実に推進すること
- 一、 老朽化が進む農業用水利施設等の計画的な更新と適切な保全対策の充実強化を図ること
- 一、 多面的機能支払いの推進に当たっては、十分な予算確保に加え、地域の実情に応じ柔軟に対応すること
- 一、 農地や農業水利施設等の機能に関する情報を蓄積した農地等地図情報の一層の活用を図るための支援の充実を図ること

右決議する。

平成三十年二月二日

島根県土地改良事業団体連合会 第六十回通常総会

農業農村整備事業に関する説明会を開催

農林水産省主催

農林水産省主催の農業農村整備事業に関する説明会が2月2日、松江市の島根県土地改良会館で開催され、農林水産省から農村振興局整備部設計課の緒方和之調査官、同部農地資源課の増岡宏司課長補佐、同部土地改良企画課の高嶋弓子課長補佐や中国四国農政局幹部職員らが出席。また、県、市町村や土地改良区の役職員らも多数参加した。

1部の説明会では、平成29年度補正及び平成30年度当初予算概算決定の概要、新規拡充事業等や、基盤整備と農地中間管理機構との連携、今後の土地改良区の在り方（土地改良法の改正）などについて説明が行われた。



挨拶をする緒方調査官

第2部では、市町村長や土地改良区理事長との意見交換が行われ、冒頭緒方調査官から、予算執行を確実にいき、事業効果をしっかりPRしていくことが重要である旨の説明があり、続いて参加者からは、国の財政も厳しい中、農業農村整備事業関係予算の総額確保に尽力されたことへの感謝、引き続き当初予算の必要額確保、中山間地域が大部分を占める島根県での農山漁村地域整備交付金増額の必要性、また土地改良区の在り方についても柔軟な対応が出来るような制度設計等、数多くの意見や要望が出され、活発な意見交換会となった。

島根県農業農村整備推進協議会総会を開催

島根県農業農村整備推進協議会(会長 長岡秀人出雲市長)は2月2日、松江市の島根県土地改良会館大会議室で通常総会を開催した。

総会では平成28年度の事業報告や来年度予算案など5議案について協議が行われ、全議案とも満場一致で可決された。来年度の事業計画では、各地域の要望に十分応えるための予算を当初予算で確保できるよう、国などの関係機関に対し積極的な要請活動を行って行くことや、一般県民、マスコミなどに対し農村振興(予算)の必要性についてPRするなどの活動が了承された。



総会の様子

＝ 承認された提出議案 ＝

- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 平成28年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成28年度収支決算について |
| 第3号議案 | 平成30年度事業計画(案)について |
| 第4号議案 | 平成30年度収支予算(案)について |
| 第5号議案 | 平成30年度会費の賦課(案)について |

第21回「しまねの農村景観フォトコンテスト」審査会開催

島根の農山村の魅力を県民の皆さんに広くPRし、農山村への理解を深めてもらうことを目的に、平成9年から開催している「しまねの農村景観フォトコンテスト」の第21回目の審査が2月14日、昨年に引き続き俳優の佐野史郎さんを特別審査員に招き開催された。

今回は、県内外の203人から518点（風景部門282点、人物部門126点、地域活性化部門110点）の作品応募があり、審査の結果、最優秀賞1点、佐野史郎特別審査委員賞1点、部門賞3点、審査委員賞7点、入賞8点、佳作8点、山陰フジカラー賞1点が選ばれた。

尚、これら入賞作品について撮影地が島根県内であることを確認し、3月中旬頃入賞作品の発表が行われる。



審査会の様子

県土連役員交代のお知らせ

2月2日に開催された県土連「第60回通常総会」において、理事1名の退任に伴う役員の補欠選任が行われ、次の役員が決定しましたのでお知らせします。任期は平成31年3月31日まで。

【新役員】2月3日付就任

理事(益田管内) 岩本 一巳(吉賀町長)

【退任役員】2月1日付退任

理事(益田管内) 中谷 勝(前・吉賀町長)

3月の主な予定

開催日	行事等	開催地
3月26日(月)	全国水土里ネット第59回通常総会	東京都
3月26日(月)	第59回全国土地改良功労者表彰式	東京都



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp